

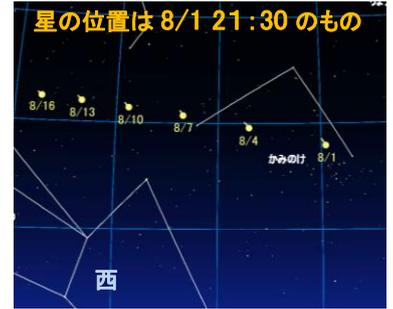
ジオスペース館だより

★ いつまで見える？ネオワイス彗星 ★



7/15、豊橋市内で撮影

7月15日号の裏面で紹介したネオワイス彗星(C/2020 F3)ですが、豊川市付近でも見られました！彗星の明るさは日々変化しますので、いつまで肉眼で見えるか正確には分かりませんが、梅雨明けの夕空に、尾のある姿が見られたらいいですね。



★ 今月の星もよう ★

夏真っ盛り！夏休みが始まりましたね。

せいかくのお休みですから、夜はじっくり星座を探してみましょう。8月中旬の夜9時頃には、夏のシンボルだった「さそり座」も南西の空低く傾き、「いて座」が南中しています。「いて座」は半人半馬のケイローンが弓を引く姿で、明るい星はありませんが、ケイローンの腕から弓にかけて並ぶ6つの星



《南斗六星》が目印になります。また、ケイローンの頭のすぐ東側には、木星と土星が明るく輝いて並んでいます。そして、天頂付近で相変わらず自立しているのは、「こと座」のベガ、「はくちょう座」のデネブ、「わし座」のアルタイルの、3つの1等星で作る《夏の三角形》です。《夏の三角形》に向って、「さそり座」辺りから《天の川》が流れていますが、残念ながら街なかではほとんど見えません。海や山など、街明かりが届かない所に出かけたら、ぜひ《天の川》も見つけてみましょう。

★ ペルセウス座流星群を見よう！ ★



星図はステラナビゲーター11を使用して作成

流れ星は彗星の放出した塵が地球の大気に衝突して光る現象です。流星群は夜空の1点(放射点)から放射状に流れるので、流星群の名前は、放射点のある星座名を元に名づけられています。今年のペルセウス座流星群のピーク(極大)は8月12日の夜ですが、明け方にかけて見える数が増えると予想されます。月明りの影響もありますが、前後数日間は見られます。空の暗い場所で観察すれば1時間に30個ほど見られるかも！流れ星に願いをこめて、楽しんでください。

★ とよかわ★星空観望会 木星と土星を見よう！



日時：9月5日(土)午後6:30~8:30
 ※雨天・曇天の場合中止(4時頃決定)
 会場：赤塚山公園 芝生広場(中止の時は、ジオスペース館プラネタリウム)
 定員：50名(先着順) 費用：300円(当日、現地でお支払いください)
 申込：8月15日(土)から、中央図書館2階事務室で整理券を配布します

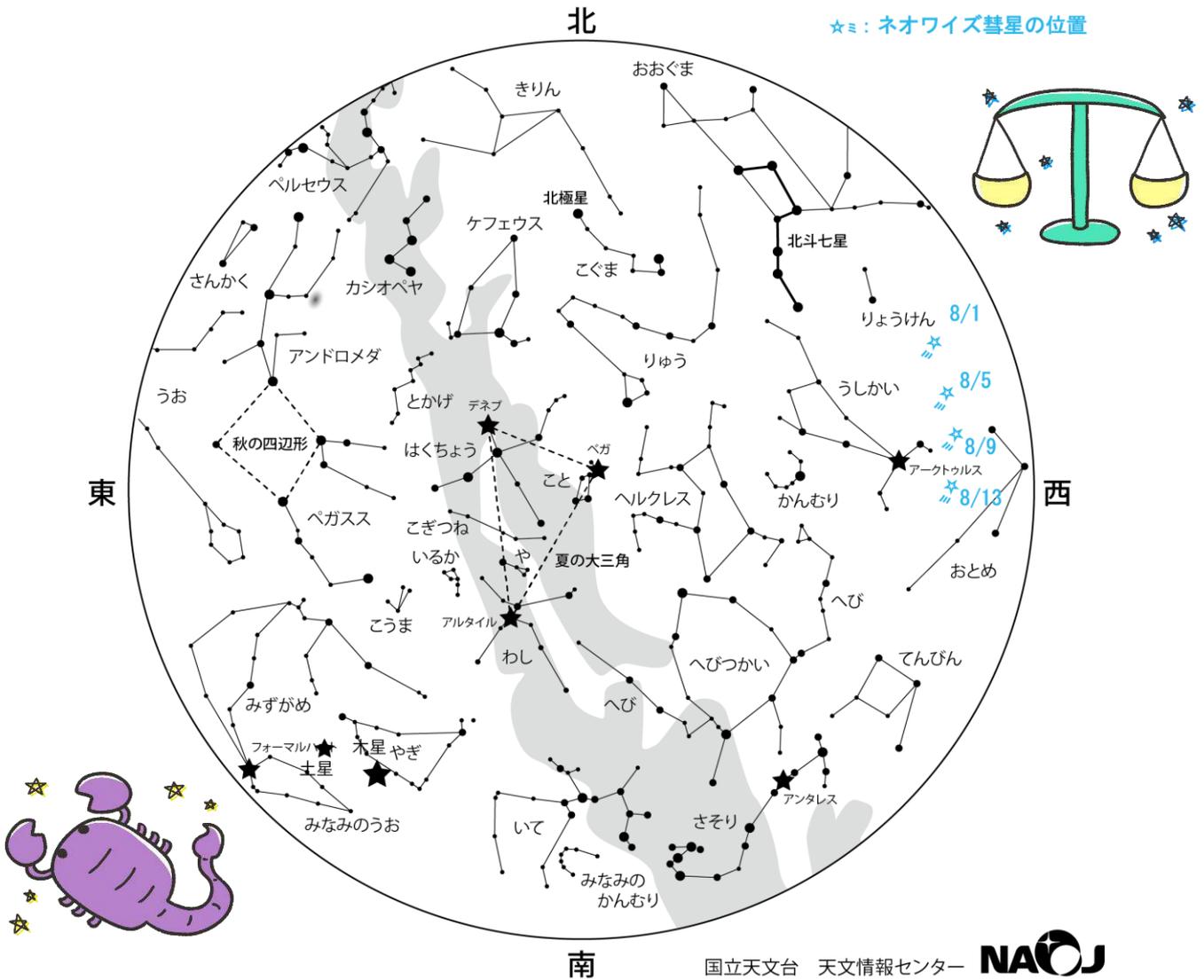


★ 8月のプラネタリウムの内容につきましては、別刷りの「投影案内」をご覧ください ★

★ プラネタリウムのお休み 8/3(月)、11(火)、17(月)、19(水)、24(月)、31(月)

★ 新型コロナウイルス感染症対策で、入場定員を減らして投影しています。

8月上旬午後9時30分頃の星空



★ 8月上旬の主な天文現象

2日(日) 月と木星、月と土星が接近	12日(水) 下弦、ペルセウス座流星群が極大
4日(火) 満月	13日(木) 金星が西方最大離角
7日(金) 立秋	15日(土) 月と金星が接近
9日(日) 月と火星が接近	

★ 宇宙ステーション(豊川での主なデータ8/1~15) ※ 下記時刻は、予想値です

◇ 8月 2日(日) [見やすさ ◎]	20:29 北西	~	20:33 東北東
◇ 8月 3日(月) [見やすさ ◎]	19:41 北北西	~	19:46 東
◇ 8月 4日(火) [見やすさ ◎]	20:30 西北西	~	20:33 南南西
◇ 8月 5日(水) [見やすさ ◎]	19:42 北西	~	19:47 南東

豆知識：国際宇宙ステーション (ISS) は、明るい星が動いているように見えます。
飛行機のような赤緑ランプの点滅はありません。